

きかいのトビ



No.147

(通巻256号)

	J	
・ 田田イ ノツド	7	-

審議した主な議案 市長提出議案

議案の議決結果

2

P 4

P 6

●政務活動報告

市政について問う -般質問》

議会活動報告

P 8 **P17**

P 7

仕の心を大

声を届けて46年。活動で地域貢献を 戸のボランティア桑の実

朗読などを行っています。 の朗読訪問、図書館での対面 録や特別養護老人ホーム等へ ィアとして、「声の広報」の収 は、この音訳(朗読)ボランテ を音声化することです。 方や高齢者のために文字など 声のボランティア桑の実 音訳」は視覚に障害のある

設立のきっかけは

石川 千寿さん(代表

昭和54年

寿実さん

40年以上この活動を続けています。



催された 公民館で開 ンティア養 声のボラ

と言われている「奉仕の心」を大切 設立されました。 成講座」の受講メンバーを中心に 桑の実の花言葉

> です。 に、視覚に障害がある方たちと共 に歩むお手伝いから始まったそう

活動を始めたきっかけは

福治さん



朗読に興味 に誘われ、 があり入会 しました。 会員の方

があり、羽 朗読の経験 もともと

村に引っ越

に音訳の講習会に参加したのがき してきた時

ャップサービスの一つに「対面朗

羽村市図書館のハンディキ

っかけです。

義母に誘われました。それまで考 べる機会と思い、入会しました。 えたことのない「読み」の基本を学 石川 設立メンバーの一人である

> ています。これは、視覚に障害が 読」があり、この事業にも協力し

具体的な活動内容は

ら現在まで続いています。 むら」から抜粋した内容をCD版 収録です。市が発行する「広報は に収録しており、昭和55年1月か 活動の中心は「声の広報」の



▲朗読CD「声の広報」は図書 館で借りることができます

り」や小学生を対象としたアイマ 福祉協議会の「ふれあい福祉まつ 問なども再開していく予定です。 ある方などが読みたい資料を朗読 スク体験の協力もしています。 また、市の「障害者スポーツ・レ でしたが、高齢者福祉施設への訪 ています。感染症の影響で休止中 い、年に1回ミニ朗読会を開催し 手伝いをするものです。 クリエーションのつどい」、社会 知りたい情報を得るためのお ほかにも、 朗読の勉強を行



▲アイマスク体験

※写真撮影時のみ、 マスクをはずしています。

【表紙の写真】(令和6年4月撮影) 「声の広報」の収録の様子

生委員会が担当しました。

たいと思います。今回は文教厚 がら、議会の役割を考えていき じて市民の暮らしを支えている 市内には、さまざまな活動を通

のような方々の活動を知り、 方が大勢います。議会として、そ

ま

た市民の皆さんにもご紹介しな

声の広報」の収録について

た

ŧ

り、

15日号は1人で行っています。 られるよう、月に2回収録してい て収録します。 ~70分の内容を2時間くらいかけ 1日号は3~4人で分担し、 広報はむらの発行日に届け 60



▲収録は、原稿を読む人(右)、収録機器を 操作する人(中央)、原稿をチェックする 人(左)、の3人体制で行います

こられたと思います。 りの体操をしています。 マイクに音が入らないよう、 えることの面白さを感じ、 けました。難しいですが、人に伝 プノイズ)が増えてしまうので、 ションやアクセントの指導を受 年齢とともに口中音 活動を始めた時、 イントネ 続けて (リッ 口周

もいます。

そういった方のお手伝

にあるものも読むことが難

方

扱説明書など私達の身近

印象に残っていることは

思っています。

むことは、

経験や工夫が必要だと

私は地域社会へ貢献しなが

より継続性・多様性

表や写真の説明も行います。

やりがいや

いができることですね。

目

が不自由な方から「声

0

のお陰で情報を知ることがで

かります」と言っていただ

人の声はほっとできる」とのお

慣づけている会員もいますね。

日1回声に出して読むことを習

新聞

0

コラムや絵本など、

は、

嬉しかったです。「こ

練習に励んでい 楽しみながら、 大の行事ですね。 自身にとって最 いという思い いたように 朗読会は 伝

感じます。

▲5年おきに周年記念朗読会を開催しています (写真は40周年記念朗読会)

活動の幅 活動の周

888号になります。 声の広報が令和6年8月1日号で ぜひ気軽に問い合わせていただき をどんどん広げていきたいですね 知やメンバー募集をし、 年度は講習会を開催し、 今後の展望や取組みを たいです。また、私個人としては、 れていないと感じています。

ている方に意味が分かるように読 訳は文字だけではなく、 気を付けていることは 聴い 数を増やし、 の計7人で活動しています。 のある活動にしていきたいです。 まで関わっていたいです。

ます。

音訳の難しさや

声のボランティア桑の実

7人

公会費 年1,000円

毎月第1、第4木曜日に定例会を実施。 月に2回声の広報の収録。

公場所

プリモライブラリーはむら、 プリモホールゆとろぎ、 羽村市福祉センターなど

公連絡先 555-7519(代表)

インタビューを終えて

奉仕の心を大切に活動されている会員 の方々にお会いし、朗読技術の高さと活 動への強い思いをひしひしと感じました。 市で最も歴史ある団体のひとつである [桑 の実」さんの会員の増加、及びご活躍を楽 しみにしています。

> お忙しいところご協力いただき、 ありがとうございました。



会員

現在、男性1人、女性6人

1000号



▲桑の実の皆さん

石川 いものを私達の声で伝え、 できないものもあります。 なり本から離れてしまう方もいま 歳を重ねるにつれ字が見えにくく まだまだデジタル化では対応 朗読を続けていきたいですね 本を読むことが苦手な方 読みた 読書や

活動

がが

今 知

情報を得るためのお手伝いを続け



■第2回定例会(6月)に市長から提出された議案は、 報告3件、その他の議案3件、 条例に関する議案5件、補正予算案2件、専決処分の 承認・同意しました。 あわせて13件を可決・

■議員提出議案は、 意見書5件を可決しました。

■審査した陳情1件は不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。

専決処分とは 特に緊急を要し、 議会 を招集する時間的余裕 がない時などに、本来、 で議決すべき事柄を、市長 が決定(処分)することができ ことを専決処分といいます。 専決処分を行った場合、市長

次の議会で報告し、承認を

求めなければなりません。

Q

国民健康保険税の限度額を見 **直し、軽減措置を拡充**

について 専決処分の承認を求めること .羽村市国民健康保険税条例 の一部を改正する条例

部を改正する政令の施行に伴い 条例の一部を改正する必要がある ため、議会の承認を求めるものです。 (議決結果) (施行日) (主な内容) 令和6年4月1日 原案可決

増額となる。 計すると、110万1000円の で約65万4000円減額する。合 000円増額し、 ラスになるのか。 分を合わせると、税収としてはプ ることになる。この増税分と減税 への増税と少ない方への減税をす ◎ 今回の改正で、所得の多い方 限度額の見直しで175万5 軽減措置の拡充

地方税法施行令の

のです。 (議決結果) 原案可決

討論

体化に向けた本議案に反対。 安定性がある。マイナ保険証の一 反対トラブルの続くマイナンバ カードの制度設計には誤りや不

伴う補正であり、妥当であると考 のであり、反対。 ンバーカードを実質義務化するも る。任意取得であるはずのマイナ 用が期待される。国の制度変更に え、賛成。 区対個人情報漏洩への危惧があ 利便性向上と安全な制度運 (市民ネットワーク)

■マイナンバーカードと健康保 険証の一体化に対応

令和6年度羽村市国民健康保険

後の予算額を歳入歳出それぞれ58 95万9000円を増額し、 億1265万9000円とするも (主な内容) 事業会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれる 補正

書)購入を追認■小学校の教科書(教師用指導

教師用指導書の買入れの

【主な内容】 予定価格2000万 議会の議決を経ずに買入れを行っ 議会の議決を経ずに買入れを行っ

買入れの目的 市内小学校におけ

書56ライセンス 1029冊、教師用デジタル教科 種類及び数量 | 教 師 用 指 導 書

質疑

- Q 再発防止策は。
- 案件か確認するチェック項目を作依頼書に議会の議決を必要とする定。また、契約時に作成する契約等に定例的に周知を行っていく予等に定例的に周知を行っていく予知を行った。今後も、予算編成時知を行った。今後も、条例の再周

成した。

- 市が方針を策定し、内部統制
- し、今後に生かしていきたい。 仕組みを周知した。監査にも報告 A 改めて全庁に内部統制制度の

討論

(羽村市議会都民ファーストの会)

議員提出議案

■意見書を可決しました

定)の改正を求める意見書再審法 (刑事訴訟法の再審規

活用への支援を求める意見書聴覚補助機器等の積極的な

(要値) 我が国の更なる高齢化の進く求める。

総務大臣 府特命担当大臣(共生社会担当)、 【提出先】 厚生労働大臣、内閣

議決結果】 原案可決

見直しを求める意見書福祉法及び税務上の取扱いの障害者相談支援事業等の社会

(要旨)障害者相談支援事業等が(要旨)障害者相談支援事業とな消費税法上非課税の対象事業とな社事業の考え方や解釈について、社会福祉協議を行い、実態における位体と協議を行い、実態における位体と協議を行い、

【議決結果】 原案可決躍 男女共同参画)、厚生労働大臣(こども政策 少子化対策 若者活(

域格差の是正に関する意見書級地区分(地域手当)による地

(要旨)国家公務員の地域手当の(要旨)国家公務員の地域手の給与に支給割合は、地方公務員の給与にされており、市政各般に影響を及されており、市政各般に影響を及ざれており、市政各般に影響を及びすことから、級地区分(地域手当のがよる。

【議決結果】 原案可決 【提出先】 総務大臣、人事院総裁

加入を求める意見書厚生年金への地方議会議員の

(要旨)国民の幅広い層からの政治参加や地方議会でおける多様なの地方議会議員の加入のための法を備を早急に実現するよう強く求める。

働大臣、財務大臣、厚生労官、総務大臣、財務大臣、内閣総理大臣、内閣官房長議長、参議院

ぎかいのトビラ(令和 6.8.1)

議決結果 原案可決



■市長提出議案の議決結果

<第2回定例会(6月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例・令和6年3月31日専決〕 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する必要が生じ、専決処分したため、議会の承認を求める。 専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例・令和6年3月31日専決〕 地方税法等の一部を改正する必要が生じ、専決処分したため、議会の承認を求める。 専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例・令和6年3月31日専決〕 →P4	原案承認	羽村市消防団条例の一部を改正する条例 消防団員の退職に関する規定において、文言を適 切な表現に改めるため、条例の一部を改正する。 羽村市家庭的保育事業等の設備及び運営に関 する基準を定める条例の一部を改正する条例 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準 の一部を改正する内閣府令により、市条例が従 うべき規定が改正されたことから、条例の一部 を改正する。 令和6年度羽村市一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ5億1332万5千円を増額し、 補正後の予算額を歳入歳出それぞれ249億2332 万5千円とする。 損害賠償額の決定について 消防団員の年額報酬に係る源泉所得税額の計算	原案可決
羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、 条例の一部を改正する。 羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、 条例の一部を改正する。 社会福祉法人に対する助成金の交付に関する 条例の一部を改正する条例 助成金の対象となった事業の計画変更等に関す る規定において、文言を適切な表現に改めるた め、条例の一部を改正する。	原案可決	に誤りがあり、本来徴収すべき額より過少に源泉徴収していた所得税について、不足額を追加で納付する必要が生じたため、損害賠償として延滞税を支払う必要があり、延滞税1万6700円を国(国税庁)に支払う。 教師用指導書の買入れの追認について→P5 固定資産評価審査委員会委員の選任について固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、秋間雅樹氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。 【任期】令和6年7月1日~令和9年6月30日	原案同意

<第2回定例会(6月)で賛否の分かれた議案>

			会派	名(数	字はノ	(数)			
件名	新	公	共	ネ	都	令	世	双	議決結果
	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
令和6年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算 (第1号) →P4	0	0	×	×	0	×	×	0	原案可決

■議員提出議案の審議結果 → P5

件名	議決結果	
再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書		
聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書		
障害者相談支援事業等の社会福祉法及び税務上の取扱いの見直しを求める意見書	原案可決	
級地区分(地域手当)による地域格差の是正に関する意見書		
厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書		

■陳情の審議結果

	ウオーナ			会派	名(数	字はノ	(数)			ナムギスの
件名	審査した委員会	新	公	共	ネ	都	世	令	双	本会議での 議決結果
	女只女	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	一
羽村市弓道場条例第22条の違法確認を求 める陳情	文教厚生 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択



令和5年度 各会派政務活動費の収支報告

政務活動費とは、地方自治法並びに羽村市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員が調査研究その他の活動を行うために必要な経費の一部として、会派に交付される経費のことです。

令和5年度は、会派の所属議員数に月額15,000円と属する月数を掛けた金額が交付されました。 なお、各会派は政務活動費の収支報告書を翌年の4月30日までに作成し、残額がある場合は、市へ 返還することとなっています。

令和5年4月に市議会議員選挙を行ったことから、令和5年度の収支報告書は、任期満了までの令和5年4月分と、新たに任期を開始した5月から令和6年3月までの各会派の政務活動費を報告します。

改選前(令和5年4月分) (単位:円)

会派	人数	交付額(A)	対象経費総額	うち政務活動費 充当額 (B)	残額 (返還額) C(A-B)
新緑会	4	60,000	8,035	8,035	51,965
公明党	4	60,000	380	380	59,620
令和かがやき	3	45,000	0	0	45,000
日本共産党	2	30,000	2,730	2,730	27,270
新政会	2	30,000	0	0	30,000
計	15	225,000	11,145	11,145	213,855

[※]市民ネットワーク・世論・自由民主党創生は、令和5年4月分の政務活動費の申請を行わなかったため、掲載していません。

改選後(令和5年5月~) (単位:円)

会	派	人数	交付額(A)	対象経費総額	うち政務活動費 充当額 (B)	残額 (返還額) C(A-B)	
新政会		6	990,000	960,643	960,643	29,357	
公明党		4	660,000	706,490	660,000	0	
日本共産党		2	330,000	32,570	32,570	297,430	
令和かがやき 5-12月		2	285,000	990	990	284,010	
באינוינוויות	1-3月	1	203,000	990	990	204,010	
市民ネットワー	2	1	165,000	36,063	36,063	128,937	
羽村市議会都民	ファーストの会	1	165,000	132,357	132,357	32,643	
世論			165,000	0 146,198 146,198		18,802	
双葉会		1	165,000	80,115	80,115	84,885	
計 5-12月		18	2,925,000	2,095,426	2,048,936	876.064	
61	1-3月	17	2,923,000	2,093,420	2,040,930	876,064	

■各会派の賛否■ **議案** 〇…賛成 ×…反対 凡 **陳情** ○…採択 ×…不採択

例 ■会 派 名■ 新…新政会 公…公明党 共…日本共産党 ネ…市民ネットワーク

都…羽村市議会都民ファーストの会 令…令和かがやき 世…世論 双…双葉会

第2回定例会では、 ついて質問することです。 般質問とは、 議員が市の施策の状況などに

その要旨をお伝えします。

6月11日、

13 日

14日の3日間にわたり

16

人の議員が一般質問を行いました。

※原稿は、 ※答弁内容は、 議員自身が要約し作成しています。 6月時点のものです。



質問

妊娠・出産・子育て

西部9自治体に、

それ以外

妊娠・出産・子育て期の家庭

の多面的な支援について

市長

西武信用金庫は多摩

櫻沢 裕人 議員 (新政会)

質問 を得て、子供・子育て家庭 関係機関や関係団体の協力 支援の強化を図るとともに、 業を活用しながら、 市長 を包括的に支援していく。 子育て世帯の羽村市 国や東京都の補助

> 行っている。 等について、

得等の支援制度の実施状況 子育て世代に対する住宅取

調査・研究を

金利引下げ制度の活用に取 ト 35 機構の連携による 事業や、 て世帯の住宅取得への補助 済的負担軽減のため、 への移住・定住に対する経 地域連携型」 市と住宅金融支援 「フラッ による 子育

包括的に支援する

妊娠・出産・子育て家庭への支援は



経済的

携や、

他の自治体における

事

こうした金融機関等との連

優遇措置を実施している。

解は。

らの支援について、

市の見

る方向けの特別金利による の自治体から移住・定住す

家庭に対する様々な側面

か



《A》経済的支援の強化等、

国・都・市連携で妊娠・出産後の経済的 支援策として電子カタログギフトを配付 している

ある。 質問 市長 費用が必要なこともあり、 具の設置を検討しているか。 る。遊具の撤去後、新たな遊 禁止となり、順次撤去され 年劣化等により遊具が使用 遊具の設置が難しい場合も している。 る場合はアンケートを実施 新たな遊具を設置す 一部の公園では、 設置には多額の

ついて 学校の法務相談体制の整備に ■その他の質問

り組んではどうか

玉川上水を世界遺産に

《A》後世に引き継ぐべき貴重な遺産である



玉川上水を世界遺産に

訓正 議員(公明党) 富永

での機運醸成や関係団体等

への

取

みを開始すべきでは。 と連携し世界遺産

質問。 質問 との答弁があった。 をかけ、 員会で、公明党都議が る羽村市が主導 して後世に継承していく」 遺産に向けた取組を」と 東京都議会の予算特別委 玉川上水の起点であ さらに魅力に磨き 世界に誇る遺産と Ü 市内外

他自治体等と歩調を合わ 市 あ 引き継ぐべき貴重な遺産で 域自治体にとっても後世に 民団体等の動向を注視し、 東京都、 市にとっても、 流域自治体 流



玉川上水の起点であり、土木学会選奨土木 遺産に認定された羽村取水堰(投渡堰)周辺

0

利

闬

促進につなげ 康増進と市内:

を伝え、認知症の方の

知

ì

飲食店に働きか

け、

広く周 飲食

店」への登録を市

内の

くりを進め かな暮らしを送れるまちづ 慣れた地 同様であ はユマニチュ ター養成講座等で取入れを。 て積極的周知や認知症サポ 認知症の方に寄り添う 「ユマニチュード」への取組みを 市 介護のケア技法とし る。 域で自分らしく豊 の認知症の取組み 引き続き住み] ドの趣旨と

地域での健康メニュー 組み推進 への

食の ニュ 質問 る「あなたの町の野菜メニ づくりと連携した外食や 分表示店としての紹介等を 充実 東京都が実施して 利用促進と市の健康 開 への取組みを。 発の協力や栄養 内飲食店等へ、 11 中

石居 尚郎 議員(公明党)

合わせ

て羽村の子供たちを 家庭及び地域が力を

育ててい

く気運を醸成

ティ・

スクールの運営を支

教育委員会は、

各コミュニ

実現することが可能となる 多彩で充実した教育活動を

《A》広く市民の意見を聞く機会を検討している

質問

改修工事の市への フレッシュランド西多

摩

の

えは。 えた新たなPTCA等の考 今後のPTAの

質問

|事完成までの期間

影響につい

7

教育長 ィ・スクー 保護者や地域の方々 今 後、 ル委員会を コミュニテ 中心

市民参画で将来の教育を考える組織創設を

教育委員会が示した「これからの羽村市立 学校の在り方について」と「児童・生徒数の 実績と推計」

捉えている。

八口減少とこれからの 教育・子育てについ

うことで、

従来のPT

Ā の ŧ

機能を補完するだけでなく

も学校運営に関わって

学校の再編を検討してい 徒数が大きく減少してい 教育委員会は、児童・生 を踏まえつつ、 小・中 < < 7

創設してはどうか。 来の教育を検討する組 とした。 教育長 何う機会を設けることも、 質問 していく。 これに地域住民を加 市民も参 広く市民の意見を 画 して、 在り 織 将 を

でも、 はない の利 用料助成はできないか。 青梅市の 新たに実施する考え 「梅の湯」 等

質問 等について、 帯設備は、 市長 推進すべきではない ったが、 ドッグランなどの 改修計画で凍結と ドッグラン設置 改めて実施時 検討されると か。 期



個人情報等、窓口での聞こえづらい方への配慮は

筆談や相談スペー -ス等でお話を伺っている

市長

筆談に加

え、 相

談ス



質問 財団法人日本財団電話リ る人の架け橋になる、 聴覚障害及び聞こえづら い方への支援策について 聞こえない人と聞こえ 令和3年から始まっ

伝導」 窓口に導入しては。 細井学長が発見した「軟骨 提供を行っている。 ーサービスの周知は。 のイヤホンを市役所 奈良県立医科大学、 市公式サイトで情報

質問 時点では導入の考えはない の配慮は。 集音器を設置している。 人情報等を窓口で伝える際 聞こえづらい方に個 機能が類似した簡易 現

n n

指定喫煙場所の

などの対応をしている。 ペースや別室でお話を伺う

災害時に派遣いただく協定を結んでいる 北杜市のトイレトレ・

支援物資

導入自治体ヘヒアリングし、

やパ 場所を指定することで分煙 化を図っている。 1 喫煙者にはコンテナ テーション型の喫 煙 型

女性の視点からの

一般

質問 ラーの導入を。 安全性のあるトイレトレ 断 水時にも使用でき 防災対策を

ホール 導入には課題があ 確認している。 でいく。 トイレ 市で導入しており、 を締結している山梨県北杜 には派遣いただけることを 災害時相互応援協定 の備蓄等に取り組 トイレ の整備や携 市として り、 災害時 マン

調査研究していく



勝 議員 中嶋

家屋 市長

明

確な基準はない

が

入してはどうか

合を通報するシステムを導

質問

道路や公園等の

不具

の倒壊などの危険

がな

いことが確認できれば在宅

(公明党)

が必要な際は、 け出ていただく。 合は も検討してはどうか つとして、 質問 分かるよう、デジタル化を。 質問 避難を推奨している。 援物資の受け取り方法は。 ングし、 取りに来ていただく。 可能としている。 導入自治体ヘヒアリ 最寄りの避難所へ届 避難所が不足す 避難所の空き状況が 在宅避難 時避難の方法の一 調査研究していく。 地域会館の利用 避難所へ受 の場合、

る場場

避難所の空き状況が分かるようデジタル化を

ントの活用促進について 羽村市LINE公式アカウ たに開設したLINE

■その他の質問

 $\langle\!\langle Q \rangle\!\rangle$

ない での 質問

方両面での配慮は。 たばこを吸う方、

が多く集まる駅周

各駅の指定喫煙場所

吸

在り方について

辺に路上喫煙禁止地区を指

改め 在宅避難と早期生活 の取組みについ

準は 質問 がが あるか 可能かどうかの判断基 て避難のあり方を問う。 登半島地震の教訓から 災害発生時、 在宅避 7

が高い。

メニュー

-の追加

で

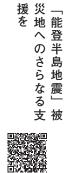
等調 してはどうか。 市民の相談対応等にも活 機能の拡充へ積極的に 査研究してい 全庁挙げて情報収 先行自治体から ポイント発行事業 Ìر د 課 集 P 題

取組んでいく。

羽村市の LINE 公式アカウント ができました 羽村市のLINE公式アカウントができました LINEの登録方法は市公式YouTube

支

チャンネルで公開している



ニケーションツールとして 最適かつ、 公式アカウントは、 利便性、 コミ 汎 用

市民サービスの向上を望む

市道の改修前(左)と改修後(右)

を通じて環境に関する情報

《〇》道路改修が総延長の6%のみの計画だが

《A》改修路線は優先順位を付し選定している

55kmだが、

羽村市道路整備計画につい

していな

高田 和登 議員 (新政会)

化状況・緊急性・必要性及 び工事規模のほか、 延長のわずか6%にすぎな いが見解は。 定は9351mである。 画での10年間の改修予 改修路線は路面 市民の

ごとに工事完了期限は明記 のため、 版として策定すべきでは。 装完了期限が明記されてい 皆さまの要望を勘案し、優 定路線を抽出している。 先順位を付し選定している。 毎年度、 明記した計画を補足 計画に路線ごとの舗 あらかじめ、 道路改修予 路線 そ

市道の総延長は約1 羽村市道路整 の劣 了承された。 直しを求める意見はなく、 見はなかったか。 である。 年前の第 の基本計画の基本理念は10 市の環境への取組みについて 環境審議会で特に見 第二次環境とみどり 見直しを求める意 一次のものと同じ

質 問 ° ۲۱ 市長 模を拡大する考えはない 今後も充実を図っ 「ミニ環境展」の

広報は、 質問 バル」を「はむら市民と産 習や活動の機会を充実し、 施した。引き続き、 い方も関心を持てるよう実 低下が懸念される。 た。 業のまつり」の中で開催 していた「環境フェスティ 市民の環境への意識 環境問題に関心のな むらなどの広報媒体 大規模に実 環境学 見解は。 0



羽村堰周辺の

秋山 義徳 議員(新政会)

質問

市役所通りの改修に

水は、 度を始期とする が対応している。 理や再生は、 桜並木の再生についてどの 避のため会場が移された。 虫被害による倒木の危険回 質問 ように考えているか。 敷地内の桜並木の管 東京都の水道施設で 羽村堰を含む玉川 東京都水道局

桜並木の再生についてどのように考えているか

管理や再生については東京都水道局が対応する



再生が望まれる羽村堰の桜並木

つり」 質問 せが数件あった。 いのか」といった問い たことについて市民の声は - 羽村堰では開催していな 桜並木が老木化や害 の会場が変更になっ 今年の開催に当たり 観光政策につい はむら花と水のま · 合わ

「玉川上水 平成27年 上 関係機関と調整を行ってい 会を見据えたバリアフリー 新たな特定財源確保のため 多額の事業費が必要となる 長期に渡ることが想定され に進める考えか。 ついて、市は今後どのよう 今後の更なる超高齢社 施工期間が10年以上の 市役所通りの再整備



路サクラ更新計画」 が、

ついて 断していくと聞いている。 画はなく、今後については 現在、桜の更新に関する計 市道第101・102号線 樹木診断等を行った上で判 和2年度に完了したため、 市役所通り) の改修

るよう、具現化に向けた検

管理が容易な道路環境とな

化や景観にも配慮し、

介護ヘルパーの確保の対策をどう行っているか

《A》研修費の補助・研修会の開催で確保 育成を支援

中で、

全国的にも介護人材

の不足が大きな課題となっ

(日本共産党) 議員

市長 質問 対策は。 ている。 介護ヘルパー -の確保

援している。 介護人材の確保・ アマネジャー・介護支援専 等の経費の一部補助や、 ご員の専門研修の開催など、 介護人材初任者研修 育成を支 ケ

どう考えるか。 間の交流会が望まれている。 える各介護サービス事業所 各事業所が自発的に 運営経験等を学び合 り組んでいく。

国の動向を注視していく。 要とする事業を継続的に実 財政状況では非常に厳しい。 施することは、 現在の市

《A》子ども家庭支援センターである

身近な公共施設の 修繕は早急に

局齢者の暮らしを守るために

超高齢社会を迎えている

質問 どう行っているのか。 との声が多くある。 上がりを改善してほしい」 を受け、さまざま質問した。 なものがある。修繕を望む声 設備など、故障で使用不能 便器や公園の遊具・運動 羽村駅東口の男子トイレ 順次改善に向けて取 損傷箇所の状態を確 歩道の街路樹の根 修繕を

小・中学校の給食費無償化を 羽村市でも来年度からは

討・実現を。 化実現に向け積極的に 願いを受け、 多額の一般財源を必 保護者や子供たちの 来年度の無償 検

高校を中退した生徒の受け皿となるのは

から支援を行う。

である。

市は引き続き側

設定することが最も効果的



勇真 議員 (双葉会)

支援場所に行かない

ポートネット」などの関係

上で「東京都ひきこもりサ

機関につなぎ、

連携した支

対応できて

市民の声について 援に取り組んでいる。

教育長 内支援委員会等で情報を共 的に家庭訪問を行う。 室、フリースクール等へ通 校内別室指導や適応指導教 で把握した状況を学年や校 しては、学級担任等が定期 っていない児童・生徒に対 組織的な支援につな 支援場所としての そこ



子ども家庭支援セン

高校を中退した生徒

りの方への進学、

就労等

支援の方策は。



市役所2階にある子ども家庭支援センタ

質問 状況を把握し、 不登校の在宅児童・生徒の けている。 及び中途退学者の相談も受 いるのか。

ている。 に応じて指導や助言を行 質問 情報を共有しており、 者双方において常に最新の 報は、担当部署と指定管理 われているのか。 指定管理者への指導等は行 維持管理に関する情 公園の管理につい 必要 7

間における窓口対応はどの 質 問 を継続している。 窓口を閉めることなく業務 らして取得することにより、 ように行われているの 職員が休憩時間をず 市役所の昼の休憩時 か。



市内の訪問介護事業所

げてい 質問

る。

19歳以上で引きこも

いを丁寧に聞き取り、

その

相談に訪れた方の

崽

国の指示権拡大の自治法改正への考えは

《A》指示には一定の制約があるものと認識している



国や東京都と羽村市

分権の在り方を問う

職員等

への周知やシステム

市長

準

備

期 間

が

短

11 中

議員(令和かがやき) 馳平 耕三

う求めてい 質問 質問 と認識している。 方公共団体の意向を無視し 対する補充的な指示は、 容に危惧はない 議決定だけで発動できる内 法の改正案への考えは。 指示権を拡大する地方自治 示権の及ぶ範囲が広く、 いよう一 方的に行われることが 国の地方公共団 国の地方自治体 玉 は所得税の定額減 定の制約がある . る。 体に . へ の 地 閣

業はどうか 応は。 増やシステム改修などの対 税を給与明細に明記するよ また、 市内の民間 職員の負担



改正地方自治法は6月19日に参議院本会議 で可決・成立した

■その他の質問

等依存症対策を急げ を問う マイナ保険証の利用率の マイナンバーカードの安全性 **、ギャンブル** 低さ

続き東京都及び基地周辺5

町で連携していく。

着陸を行わないことを米軍

と国に要請している。

引

横田基地日米友好祭の戦 要に応じて市商工会が説明 てい 見交換の場は無かった。 事前に相談はあったか。 医療費助成を打ち出したが 費の半額補助や18 を行っていると聞いている。 改修など必要な対応を行っ る。 自治体への説明や 小池都知事 市内企業へは、 は、 歳までの 給食 意 必

今後の市の対応は。 民生活を脅かすものだっ 市上空を何度も飛来し、 超えていないか 闘機の飛来は友好の域 毎年度、 友好祭で、 戦闘機の 戦闘機 を 市 が

補聴器の助成金を実施すべきではないか 《A》国、都、周辺自治体の動向を注視する

用者に勧告・命令・

罰則 土地

とめられた場合、

利

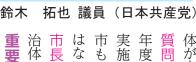


国

東京都、

周辺

自





高齢者を対象とした補聴器助成の実施を

はないか。 実施を目指している。 年度までに、 体が実施している。 八助成金の実施状況は。 もいち早く実施すべ 東京都内の補聴器購 昨年度では、 東京都は、 都内での完全 2 0 2 23 自治 、きで 羽村 6

応じて適切に判断されると

個別具体的な事情に

重要土地利用規制法によ 治体の動向を注視していく。 機能を阻害する行 は生じないか 安全保障上重要な施設 市民生活へ の悪影 為 が 0

教育長 で見直しを繰り返す状況 った場合、 した。 できるよう適正規模を設定 模で学校を再編することが 想定される。 あらかじめ大きな規 国が示す標準に従 10 これを避 年程度の 間 け



伸聴器助成金を 羽村市でもはじめよう

質問 課す法律が施行され、 基地周辺が指定された。 基地反対運動や、 横 市

されるケースもあるのか。 内事業者の活動に制限

が

課

認識している。 合意のもとに進めるべ 小中学校の再編は、

校3校 り学校数が少ない姿を目 すとしたのか。 ~3校となる。 き試算すると、2035年 には小学校5校・中学校2 質 問 国が示す基準に基 ・中学校2校と、 なぜ、 ょ 学



区画整理法では家屋取壊し等も可能。行うのか

《A》義務ではない。羽村では協議移転が基本



るの 質問

は権

者。

反対住民も

移 利

転の諾否を決

陽 議員 (世論)

5 は70%を超す。事業範囲 としている。 ない。 可能。 おり 施 答弁だが、 家屋取り壊しの直接施行が の飛び換地は1棟だ。 後で移転率39%、 進捗に影響する」との 答弁に反しないか。 市は協議移転を基本 直接施行は義務では 6か年の優先事項実 区画整理法では 事業費 残 か

市長 では。 削 り13年で事業費、 て換地設計している。区域の 部を除外する場合は、 減のため区域除外すべき 地区全体を一体とし 事業期間

公社職員の立人を見と 6か年事業実施区域には「反対看板」が並ぶ

市長

羽村市は自然減と社

区分される。

若い世代の

会減対策が必要な自治体に

るため難しい。 設計の見直し等に 数 年 か か

|画整理撤回要求第68弾

場を含む3・4・13号線の整 4 12 億4000万円のうち、 3・4・12号線の都交付金50 路面と接する家屋は何棟で、 備で250棟の移転。この 問 補償費は。 号線及び駅前交通 都市計 画 道 路 3 用 道 広

だ状態にあり、

今後も厳し

につながり、

市のにぎわ

30棟、 市長 08万5000円。 800万円、 接する棟数は前者が 後者が15 後者が11 道路用地内は前 棟。 補償費16 用地費28億8 棟。 道路に 28 億 7 棟、 者が

では、 歳の若年女性人口が32 53人減少。中でも20~ 市の対応は。 ポイントの減とされている。 で2020年から1万18 市の人口は2050年 人口戦略会議の推 8 39



議員 和也 (新政会)

野崎 質問 いる。 生み出す必要性は、 ていくために事業の廃 未来につながる自主財源を い財政状況が続くと捉えて

企業支援制度があるが、 の手段に、 質問 必要がある。 自主 企業誘致制度や |財源確保のため

未来につながる自主財源の確保の必要性は

《A》新たな自主財源の獲得を推進する必要がある



化をどう捉えているか

財政の硬直化が進

h

策が市内企業の成長や発

市内企業へ

、の支援

目主財源の確保につい

経常収支比率の

硬

るか

人口

減少が進む

中

事業所等の誘致につい

て

える。



市と26市平均の経常収支比率の推移 (『令和6年度 羽村市の予算 わかりやす い最初の一歩!』から引用)

をしているか。

の地主や企業等に働きか

け

質問 助となり転出抑制 援などを行うことで経営基 市長 思うが、 事業所は、 ると考える。 盤が安定し、 業環境の維持・向上への支 い地域への移転を考えると • 誘致可能な未利用 融資制度の紹介や操 円安で経営が厳 建物の老朽化や物価 とどめる方策は。 固定資産税の 立地継続の につな 地

化の取組みに加え、

新たな

見直しなど財政健全

止

将来にわたって発展

持続可能な都市とし

自主財源の獲得を推進する

関係者に周知するなど取り 有者の協力が必要不可欠な んでいる。 企業誘致促進制度を 企業誘致には土 地 所



7

の効果をどう見積もっ

を創ることに寄与すると考

気候変動に

SDGsの17の目標のひとつである

備の情報公開を羽村駅西口地区の■その他の質問

の都市基

盤

具体的な対策を

《〇》環境配慮事業助成制度の予算増額はできないか

《A》制度や環境施策の充実を図っていく

年の

一夏は、

ゼ

ロカーボンシティ

に向け具体策を進めよう

気温が観

門間 淑子 議員 (市民ネットワーク)

度は・ 質問 地 緊急課題であ 産業部門、 産業革命前から1・ 二酸化炭素の排出削減は 球温暖 増 領額は 1. 市民要望が高 羽村市の特徴として 環境配慮事業助 できない 化の主原因である 東京は100年間 35度上昇しており、

多 接的に支援することができ 出される二酸化炭素の量が 素社会の る重要な施策であり、 小 企業や家庭に対し、 環境配慮助成制度は、 実現に向け、 家庭部門から排 低炭 制 直 度

測史上最も高く、 世界の平均 か。 ς γ 48 度上 予算 成制 質問 よう進めていく。 併せて効率的に設 有効である。 けでなく教育的 学校への設置は、 備を設置してい を急ぐべきではない 光パネル 現在、 で気バス • 蓄電装置の設 施設

るが、 た車 収集に取り組んで バスを始め、 抑制を図る観点から、 市長 の購入が凍結されて 一両の導入に向け、 温室効果ガスの排 見通しはどうか 環境に配慮 ζJ は 電 む 気 出 5 13

てい など環境施策の充実を図 <u>ر</u>

いて

学校給食費の無償化につ

羽村駅西口土地区画

整

理

事業の促進に向けて

をすべきではないか

ての 質問

決意は。

4月の時点で、

無償

子供たち 多摩26市 学校給食費の無

流 償 化

市長の本事業に

つ

太陽

質問 全ての 学校 <u>の</u>

電時の避難所の電力確保に 中学校1校に太陽光発電 小学校2校、 . る。 観点や、 環境面 置 の改修に 小 • か。 できる 停 中 設

気候変動対策

学校給食費の無償化をすべきでは

《A》国において責任を持ち対応すべきである

俊男 議員 (羽村市議会都民ファーストの会) 濱中

進めて 誰もが安心して子供を産み 援センターを中心とした伴 っていく。 とができる施策の推進を図 育てることができ、 走型相談支援を実施する。 ついては子育て世代包括支 子供が健やかに成長するこ < ? 妊娠・出産に 全ての

中13市であった。 東京都と連携した取組みを 税収減につながる あると考える。 が責任を持ち対応すべ 格差が生まれないよう、 の住む自治体によって教育 化を行ったのは、 因と考える。 結婚

・出産支援につい

て \dot{O}

きで

玉

人口減少が羽村市

羽村大橋から新奥多摩街道までの用地空け が進む

もに、 前市街 地の どの都市施設を整備 前交通広場や道路、 ねていく。 展に向けて 目指す。 総合的な 和した市街地の再生など、 再編整備事業として駅 都市施設と自然が 1地の再編を図るとと 本事業は、 今後も、 「まちづくり」 層の努力を 既成市 更なる進 公園 Ü を 調 駅 な

出産支援が必要では。

強力な結婚支

一つの要

結婚を望む方には、



■その他の質問

市内の指定喫煙場所について

《〇》外国人住民の福祉の増進に向けた今後の展望は

組みとして、

町 \wedge 者

村

で 取

解促進、

八権尊重 構成市

0)

《A》生活上の不安を解消できるよう取り組む



化共生実態調査

一の外国・

対応などのさまざまな取

質問

福生市・

羽村市多文

度や

市

公式サイト (国籍市)

- の多言

語 制

民支援員

多文化共生につい

要望

一の第 人の交流

位は

「日本人と

をしている。

生活上の

不 組

国

意見交換等

池澤 敦 議員 (新政会)

> 市長 展望は。

世界の文化講座

を平

成 26

年度から毎年度開



西多摩地域広域行政圏計画(左)と福生市・ 羽村市多文化共生実態調査報告書(右)

質問 年 で開催できなかったが、 ら5年度まで感染症の影響 る貴重な機会であり、 継続し してい る。 進 度の開催に向け調整 多文化共生を推 0 る。 国 て開催する。 取 組みと今後 人住民の福祉 令和2年度か の展 今後 進す 中で

質問

羽村市は音楽活動

が

ん

である。

障が

11

 \wedge 0 推進施策を立案し

7

17

音楽会を開催 と意見交換を行い 圏 関係団体や近隣市 協 議会の 西多摩地域 事業に関 広域 実 わ 町 5 行

質問 画の 西 生活を送れるよう取り組 安を解消 |多摩地域広域行政圏| 取組み状況につい 広域観光ル 安心した日 0

ある。

市

. О

取組みと今後

を行うイベント

0

実施」

開発_ を基礎資料とし、 客数調査を行う。 科会で西多摩地域 今年 進捗状況は。 度、 観 各種観 この 入込観 光振興 結 光 果 光 分

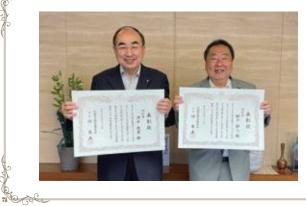
て検討する。 しては。



について 羽村堰と多摩川の

の

水辺



議員表彰

5月22日、全国市議会議長会より、 濱中俊男議員と馳平耕三議員が 在職20年以上の表彰状を贈呈されました。 (写真左から濱中俊男議員、馳平耕三議員)

※門間淑子議員、石居尚郎議員は辞退されています。

新政会

製沢 裕人 池澤 敦 野崎 和也 秋山 義徳 和養 當松

公 明 党

金子ひとみ なかじま 勝 温が 別まさ 岩层 尚郎

市民ネットワーク 淑字 門間

日本共産党

順

拓也

浜中

鈴木

羽村市議会都民 ファーストの会

俊男

令和かがやき

ままでき 耕三 脚平

世 論 よう いち **陽一** はなき

双葉会 がか 野真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、 議会活動を行う上での基礎となります。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に 関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和6年5月1日~令和6年7月31日の主な活動

5月

- 2日 ■文教厚生委員会市民インタビュー(声のボランティア桑の実)
- 13日 ■令和6年度羽村市官公署等連絡協議会
 - ■行政視察受入れ(新潟県北蒲原郡聖籠町)
- 15日 ■三多摩上下水及び道路建設促進協議会令和 6年第1回正副会長・委員長会議
 - ■行政視察受入れ(山口県岩国市)
- 16日 ■文教厚生委員会行政視察(立川児童相談所)
- 22日 ■全国市議会議長会第100回定期総会
- 24日 ■西多摩地区議長会定例会議
 - ■行政視察受入れ(大阪府富田林市)
- 29日 ■東京都市議会議長会定例総会
 - ■東京都市町村議会議員公務災害補償等組合 議会臨時会
- 30日 令和 6 年第 1 回多摩都市モノレール建設促 進及び公共交通対策特別委員会
 - ■第9回議会改革推進委員会

6月

- 3日 ■第5回議会運営委員会
- 11日 ■第2回羽村市議会定例会(初日)
- 13日 ■第2回羽村市議会定例会(2日日)
- 14日 ■第2回羽村市議会定例会(3日目)
- 17日 ■第2回羽村市議会定例会(4日目)
 - ■一般会計等予算審査特別委員会
- 18日 ■一般会計等予算審查特別委員会(補正予算)

- 19日 ■第2回総務委員会
 - ■第2回環境まちづくり委員会
- 20日 ■第4回文教厚生委員会
- 21日 ■第10回議会改革推進委員会
- 25日 ■第6回議会運営委員会
- 27日 ■第5回広報委員会
- 28日 ■第2回羽村市議会定例会(最終日)
 - ■第3回議員全員協議会

7月

- 4日 ■文教厚生委員会調査研究活動(羽村市私立 幼稚園協会との懇談会)
- 9日 ■全国市議会議長会基地協議会第109回理事
 - ■第6回広報委員会
- 18日 ■第7回広報委員会
- 23日 令和 6 年度三鷹・立川間立体化複々線促進 協議会及び多摩地域都市モノレール等建設 促進協議会合同総会
- 25日 ■第11回議会改革推進委員会
- 26日 ■西多摩地域広域行政圏協議会審議会
 - ■三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3 委員会
- 30日 令和 6 年第 1 回東京都後期高齢者医療広域 連合議会臨時会全員協議会・本会議
- 31日 ■三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2 委員会

しぎかいカレンダ・

●第3回定例会(9月)の予定●

8	B	*	*	木	金	4
				8/22	23	24
				陳情メ		
25	26	27	28	29	30	31
	議運					
9/1	2	3	4	5	6	7
		本会議	本会議	本会議		
8	9 予特	10	11	12	13	14
	(補正)	本会議		常任委	常任委	
15	16	17	18	19	20	21
			決特	決特	決特	
22	23	24	25	26	27	28
		議運			本会議	

- ■陳情メ…請願・陳情の9月定例会審議予定分の締切
- ■議運…議会運営委員会
- ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
- ■予特(補正)
- 一般会計等予算審査特別委員会(令和6年度補正予算)
- ■決特…令和5年度一般会計等決算審査特別委員会
- ※会議の予定は変更になる場合があります。 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう!知ろう!

~次の定例会は9月~

以下の方法で議会をご覧いただけます。

議場で傍聴 ライブで!

当日、市役所4階の議会事務局にお越しく ださい。

ケーブルテレビで生中継

多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会 議の様子を生中継でご覧になれます。放 送日は横のカレンダーをご参照ください。

インターネットで録画中継

開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く) から、インターネットで録画中継を見る ことができます。

会議録で読む

会議終了後2か月程度で会議録ができあ がります。冊子または、羽村市公式ウェ ブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

https://www.city.hamura.tokyo.jp/

検索 🖊



今回の

市民インタビュ

ーでは、

羽村

後 集

池澤 濱中 富永 金子 報委員会委員 ひとみ 俊男 訓正(委員 敦 順 (副委員長 野崎 \blacksquare

和登 和

也

長

内容を提供できるよう情報発信に努め 道な活動等にもスポットを当て、 があり、 お応えできるよう、 分かりやすく、 今後も地域の地 読みやす 親

さを認識しました。 お聞きしました。 を続ける活力となったというお話 広報委員会では、 改めて助け合いの尊 市民の皆様の期

障害のある方に寄り添い、 実」の皆さんにお話を伺いました。 を続けている「声のボランティア桑 の頃から、 4年という長きに渡り活 声を届ける

発行/羽村市議会 編集/広報委員会 〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



活動を続ける中で、

逆に励まされ、

EGETABLE [ぎかいのトビラ] は **OIL INK** 再生紙を使用しています。